



2013年6月

アトピー 皮膚の炎症、カビが原因

アトピー性皮膚炎患者が汗をかいた際に引き起こす炎症の原因が、人間の皮膚に存在するカビが作り出すタンパク質であるとの研究結果が発表されました。(毎日新聞 web 版より)

Hiragun et al. (2013) Fungal protein MGL_1304 in sweat is an allergen for atopic dermatitis patients.

The Journal of Allergy and Clinical Immunology doi:10.1016/j.jaci.2013.03.047

<http://www.jacionline.org/article/S0091-6749%2813%2900587-3/abstract>

汗がアトピーを悪化させる事は良く知られており、アトピー患者のおよそ80%が汗に対してI型アレルギーを持っているとされていますが、どのようなメカニズムでかゆみが引き起こされているのかは分かっていませんでした。

この論文を発表したのは広島大学大学院 秀道広教授（皮膚科学）らの研究グループです。

研究の結果、秀教授らはかゆみの原因として、マラセチアグロボーザ（カビの一種）が作るタンパク質を特定しました。研究グループがアトピー患者の汗に含まれる物質を分析したところ、好塩基球という白血球の一種からヒスタミン（かゆみ物質）が放出される際、マラセチアグロボーザが作り出すタンパク質が関わっていたことが分かりました。

このカビは健康な人間の皮膚にも存在していますが、作り出されたタンパク質はごく微量でもアレルギー反応を引き起こします。

今後研究が進めば、アトピーの治療方法や皮膚のバリアに新たな手法が生まれるかもしれません。

オルトメディコでは様々なヒト試験の実施が可能です。

お気軽にご相談ください。

試験一覧：<http://www.orthomedico.jp/clinical-trials-price.html>

引き続き皆様に満足いただけるような情報を提供させていただきますので
今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

株式会社オルトメディコ
研究開発部 開発支援課
〒112-0002
東京都文京区小石川1丁目4番1号 住友不動産後楽園ビル2階
TEL：03-3812-0620 FAX：03-3812-0670
MAIL：info@orthomedico.jp